

雨の夜

樋口一葉

青空文庫

庭にはの芭蕉ばせをのいと高たかやかに延のびて、葉はは垣根かきねの上うへやがて五尺ごしゃくもこえつべし、今歳ことしはいかなれば斯かくいつまでも丈たけのひくきなど言いひてしを夏なつの末すゑつかた極きはめて暑あつかりしに唯ただ一日ひとひぶつか、三日みつかとも数かずへずして驚おどろくばかりに成なりぬ、秋あきかせ少しそよくとすれば端はしのかたより果敢はかなげに破やぶれて風情ふぜい次第しだいに淋さびしくなるほど雨あめの夜よの音おとなひこれこそは哀あはれなれ、こまかき雨あめははらくと音おとして草村くさむらがくれ鳴なくこほろぎのふしをも乱みださず、風かぜ一ひとしきり颯さつと降ふりるは彼かの葉はにばかり懸かるかといたまし。雨あめは何時いつも哀あはれなる中に秋あきはまして身みにしむこと多おほかり、更ふけゆくまゝに灯火ともしびのかげなどうら淋さびしく、寝ねられぬ夜よなれば臥床ふしどに入いらんも詮せんなしとて小切こぎれ入れたる畳紙た、うがみとり出いだし、何なにとはなしに針はりをも取とられぬ、未だ幼まいとけなくて伯母おばなる人に縫物ぬひものならひつる頃ころ、枉おくみ先さき、棲つまの形なりなど六むづかしう言いはれし、いと恥はづかしくて是れ習ならひ得えざらんほどはと家いへに近ちかき某それの社やしろに日参にっさんといふ事ことをなしける、思おもへば夫それも昔むかなり成なりけり、をしへし人は昔むかの下したになりて習ならひとりし身みは大おほかた方かたもの忘れしつ、斯かくたまさかに取とり出いづるにも指ゆびの先さきこわきやうにて、はか／＼しうは得えも縫ぬひがたきを、彼かの人ひとあらば如何いかばかり言いふ甲斐がひなく浅あさましと思おもふらん、など打返うちかへし其そのむかしの恋こひしうて無端そいろに袖そでもぬれそふ心地こゝちす、遠とほくより音おとして歩あゆみ来るやうなる雨あめ、近ちかき板戸いたどに打うちつけの

騒^{さわ}かしさ、いづれも淋^{さび}しからぬかは。老^{おい}たる親^{おや}の瘦^やせたる肩^{かた}もむとて、骨^{ほね}の手^てに当^{あた}りたる
も斯^かる夜^よはいとゞ心^{こころ}細^{ほそ}さのやるかたなし。

青空文庫情報

底本：「日本の名随筆」 雨」作品社

1986（昭和61）年5月25日第1刷発行

1991（平成3）年10月20日第10刷発行

入力：加藤恭子

校正：浦田伴俊

2000年8月19日公開

2005年6月26日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

雨の夜

樋口一葉

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>